

研究種目：基盤研究（C）  
 研究期間：2006～2009  
 課題番号：18530679  
 研究課題名（和文）学校ソーシャルワークの現職教員研修のプログラムに関する実証的研究

研究課題名（英文） A study of the teacher training programs for social work in school

研究代表者 鈴木 庸裕（SUZUKI NOBUHIRO）  
 福島大学人間発達文化学類・教授  
 研究番号：70226538

研究分野：社会科学  
 科研費の分科・細目：教育学・教科教育学  
 キーワード：学校ソーシャルワーク、生徒指導

#### 1. 研究計画の概要

本研究の目的は、学校・家庭・地域をつなぐ学校ソーシャルワークの機能を活かした実践力を、現職教員の研修段階において形成する研修プログラムの開発とその実効性の検証にある。

#### 2. 研究の進捗状況

平成18年度は国内の生徒指導関連、教育相談関連の研修実態（大学や教委での開催）とカナダでのトロント市教育委員会調査を主体に、19年度はアメリカと日本との研修上の比較、20年度は国内の自治体・教育委員会の実践状況の調査を中心に、教員並びに社会福祉専門職との連携に軸をおいたプログラムの実際のモデルを作成してきた。

#### 3. 現在までの達成度

当初の計画以上に進展している。

主に、学校と医療、福祉、保健、司法等の諸関係機関と連携協働する教師自身の力量形成、及び、不登校や発達障害、児童虐待・ネグレクトなどの問題解決に関わるチームワークづくりやコーディネーターとしての実践力形成に関するプログラム開発をおこなってきた。あわせて、研修のための諸ツール（アセスメントシートや教材等）の開発をおこなってきた。

#### 4. 今後の研究の推進方策

21年度は、主に『教師のための学校ソーシャルワーク実践ハンドブック』の執筆作成とそのプログラムによる研修会の開催、エビデンスをもとに、成果物の刊行をおこなう。

#### 5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 6件）

1 鈴木庸裕「学校ソーシャルワーク」専門職の養成をめぐる実習カリキュラムの一考察」『学校ソーシャルワーク研究』（日本学校ソーシャルワーク学会編）第3巻 2008, p.25-p.40。

2 鈴木庸裕「スクールソーシャルワーカーの人材養成」『学校ソーシャルワーク研究』（日本学校ソーシャルワーク学会編）第2巻 2007, p.5-p.13。

3 鈴木庸裕「子どもの人権擁護を担う地域のコーディネーター」『生活指導研究』第17号（日本生活指導学会編）エイデル出版、2007、p.64-p.76

4 鈴木庸裕「スクールソーシャルワーカーの業務と学校支援（1）」『福島大学総合教育研究センター紀要』

5 鈴木庸裕「教師のための学校ソーシャルワーク」『福島大学総合教育研究センター紀要』第4号、2008、p.9-p.16

6 鈴木庸裕「スクールソーシャルワーカーの動向を中心に」『生活指導』（明治図書）546号、2008、p.78-p.85

〔学会発表〕(計 3件)

- 1 第24回日本生活指導学会大会、課題研究発表「子どもの人権擁護を担う地域のコーディネーター」、大阪市立大学、2007.9
- 2 第2回日本学校ソーシャルワーク学会大会、シンポジウム、目白大学、2007.7
- 3 第1回日本学校ソーシャルワーク学会大会、大阪府私学文化会館、2006.7

〔図書〕(計 2件)

1 日本学校ソーシャルワーク学会編  
(鈴木庸裕他編集)『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』中央法規出版社、2008.321pp

2 山下英三郎他編『スクールソーシャルワーク論』学苑社(共著)、2007

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

取得状況(計 件)

〔その他〕